

各 位

2011年12月15日

株式会社イオンファンタジー
代表取締役社長 土谷 美津子
(コード番号 4343 東証一部)
 財経本部本部長 新田 悟
(電話 043-212-6203)
当社の親会社 イオン株式会社
取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
(コード番号 8267 東証一部)

2012年2月期の業績予想の修正に関するお知らせ

記

2012年2月期通期の業績予想につきまして、2011年9月29日付当社「2012年2月期第2四半期決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

1. 2012年2月期（2011年2月21日～2012年2月20日）業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	42,300	3,200	3,200	1,500	82円73銭
今回修正予想 (B)	42,800	3,600	3,600	1,600	88円25銭
増減額 (B-A)	500	400	400	100	
増減率 (%)	1.2	12.5	12.5	6.7	
(ご参考) 前年同期実績	42,245	2,682	2,601	1,256	69円32銭

2. 修正の理由

2011年9月29日に上方修正し発表した当2012年2月期通期業績予想は、2012年第2四半期決算における前年同期の営業利益に対し、53.8%増と大きく上回った実績に、第3四半期以降をほぼ前年並みと想定した業績を加え、通期19.3%増の営業利益32億円で開示させていただきました。

しかしながら、9月度以降、幼児向けコーナーとして人気が拡大した「ファンタジースキッズガーデン」や店別品揃えの改革を進めたメダルゲーム等、遊戯機械売上が堅調に推移したことに加え、カードグループにおいて、人気カードゲームのリリースや国内最大級の品揃えによるシェア拡大が寄与し、商品売上も大きく前年同期実績を上回る結果となりました。

なお、2012年2月期第3四半期決算は、2011年12月21日に開示させていただく予定です。

※上記記載の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上